

2025 年 3 月 13 日

一般社団法人四日市青年会議所 2025 年度

理事長 仲野 仁裕 君

副理事長 森山 陽介

委員長 早川 諒

副委員長 高茂 亮太

3 月度例会の支払いにおける顛末書

この度は 3 月度例会で使用する有線マイクの本数が見積書と相違が発生してしまい、予算総額を超える金額となってしまったこと深くお詫び申し上げます。発生した経緯について調査いたしました。その結果、本件発生原因が判明いたしましたので、今後の対策と併せて下記の通りご報告申し上げます。

記

1.発生経緯

10 月 18 日(金)…四日市市文化会館へ会場予約とお借りする設備の予約を行う際に有線マイクを 3 本お借りする予約を取った。

11 月頃…収益費用明細書を作成するにあたって有線を 2 本で計上してしまった。(文化会館は見積書を発行できないのでこちらで作成したものの、音響設備をお借りすると必然的に有線マイクが付いてくる仕様となっており、見落としていた。)

2 月 6 日(木)2 月度理事会にて 5 月度例会が可決承認された。

/()四日市市文化会館へ当日お借りする音響設備等の予約を行った。

3 月 11 日(火)3 月度例会当日、四日市市文化会館へ第 3 ホールの鍵をお借りしにいくと同時に、設営費のお支払いをした。その際に、有線マイクの本数が計画議案と相違があることに気づいたが、当日は音響設備等のキャンセルが不可能であった。そのため有線マイクを 1 本多くお借りすることとなった。

【状況及び対策】

問題①:会場側から発行された予約表の確認を怠り、収益費用明細書、見積書に予約と間違った有線マイクの本数を計上してしまっていた。

対策①:会場側から発行されている予約表を議案に添付しておき、誰もが確認できる状況をつくっ

ておく必要がある。

問題②: 8 日前までであればキャンセルが可能ではあったが、計画議案が可決承認されるまでにお借りするマイクの本数が実際の想定と相違がないか、確認を怠っていた。

問題②: キャンセルが不可能となる 8 日前までに可決承認予定の見積書と当日の予約表を見比べて間違いが発生していないか、確認しておく必要がある。

この度は大変申し訳ございませんでした。今後このようなことのないように細心の注意を払い、事業立案、事業実施を行うようにいたします。何卒、ご理解のほどお願い申し上げます。